

教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

# 八鹿青溪校区小中一貫教育だより

八鹿青溪校区校長会発行

令和6年7月5日(金)

第1号

## 9年間を見据えた「小中一貫教育」に取り組んでいます

八鹿青溪校区では、小学校4校（高柳小学校・八鹿小学校・伊佐小学校・宿南小学校）と八鹿青溪中学校が連携し、小中一貫教育を進めています。また、各校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクールとしての取組も行っています。八鹿青溪校区の小中一貫教育が充実した取組となりますよう、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 《令和6年度 八鹿青溪校区の学校・児童生徒数》

学校名	八鹿青溪中	高柳小	八鹿小	伊佐小	宿南小
児童生徒数(人)	212	90	248	78	27

### 1 八鹿青溪校区の共通教育目標

「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

### 2 八鹿青溪校区の小中一貫教育がめざす15歳像

「自立生活の基盤となる主体的な活動姿勢や資質が備わっている生徒」

- 「慎独」：自らを正し、うつくしい生き方をめざす生徒
- 学ぶ喜びを感じ、自らを高める姿勢で着実に力をつける生徒
- 苦難に立ち向かい、自ら課題解決に努める生徒
- コミュニケーション力が備わり、協調心や社会性が培われている生徒
- 社会貢献の姿勢が備わり、協働して主体的に活動できる生徒
- ふるさとに誇りをもち、強い意志で将来の夢を描くことができる生徒



青谿書院

### 3 推進体制

学校運営協議会

小中一貫教育拡大運営委員会（校長会）（教頭会）（担当教員）

学年部会				専門部会		各種委員会（必要に応じて開催）		
前期部会	中期部会	後期部会	特別支援部会	まなび (学力向上)部会	ふるさと そうあん部会	生活指導	養護部会	事務職員
小1～4	小5～中1	中2～3	全学年共通			特別支援		道徳・人権

### 4 各部会の具体的な取組

①学年部会（前期：小1～4）（中期：小5～中1）（後期：中2・中3）（特別支援）

◎学習習慣・学習規律の定着 ◎「やぶ・ふるさとキャリア教育」の充実

②専門部会Ⅰ：まなび（学力向上）部会

◎いきいきと表現する児童生徒の育成 ◎自主学習の推進 ◎家庭学習の定着 等

③専門部会Ⅱ：ふるさとそうあん部会

◎そうあんくんの日の取組の推進 ◎お手伝い大作戦の取組(冬休み等に実施)の推進

◎地域行事への参加促進 ◎キャリアパスポート、ノートの活用 等

④各種委員会

### 5 その他の取組

◎6年生登校(年3回) ◎小中連絡会(年2回) ◎小中合同研修会(年2回)

◎「小中一貫教育だより」の発行(年3回) ◎相互授業参観、各校の授業研究会への参加

◎各地区のクリーン作戦・防災避難訓練への参加 ◎トライやる・ウィーク各小学校受け入れ

## ■昨年度の振り返り■

### ○まなび（学力向上）部会の取組

- ・学習発表会などいろいろな人たちの前で表現することで、自分の殻を破ることが出来た。児童によっては、話すだけでなく書いて表現することも大切にしている。（小学校）
- ・国語の授業で対話について学習していった。司会や記録の仕方等も型を作って指導し、それが他教科にも波及した。また、スピーチの苦手な児童には、日記の表現から良い書き方を紹介するなどの個別対応をした。（小学校）
- ・学年集会等で、リーダーが自分たちで課題を見つけ、全体に呼びかける機会を持った。また、自主学習の取組をフロアに掲示して、生徒同士が共有できるようにした。（中学校）

### ○ふるさとそうあん部会の取組

- ・事前に計画表を作成し、お手伝い内容をあらかじめ決めて取り組んだ。親子で目当てを共有することにより保護者もたいへん協力的になった。（小学校）
- ・「そうあんくんの日」は、読書と自学を頑張る日と位置づけている。他へのお手本となる内容については教室掲示をして意欲づけをした。また、“できることを3つ”というように自分で頑張ることを決めるとやる気につながった。（小学校）
- ・個人目標設定の際、「そうあん先生の言葉」を意識させることで、「そうあんくんの日」を生徒に浸透させることができ、自らの目標がより具体的になった。（中学校）

### ○6年生中学校登校（年間3回実施）

- ・6年生児童にとって、中学校入学に向けての不安感、抵抗感の軽減につながっている。（小学校）
- ・6年生児童との交流は、中学生にとっても大きく成長する機会となっている。（中学校）



6年生中学校登校の様子（令和5年度）

### ○小・中学校合同の教職員研修（カウンセリングマインド研修、キャリアアップ研修）

- ・同じテーマに基づいて小・中学校の教員が学び合うことはたいへん意義深かった。
- ・教員同士での教え合いは、相互に遠慮なく質問をすることができ、楽しい学びとなった。

## ■今年度の重点目標■

「まなび（学力向上）部会」では、「いきいきと表現する児童生徒の育成」をテーマに、自分の考えを進んで表現することのできる児童生徒の育成をめざして各校で実践します。その上で、校区内各校による相互授業参観をさかんにし、授業改善策の交流を図ります。また、基礎学力の向上を目標に、これまで同様「自主学習」「家庭学習」の充実を図ってまいります。

「ふるさとそうあん部会」では、「そうあんくんの日の取組」の推進のため、「そうあんくんの日」の意義を児童生徒に伝えることに加えて保護者への啓発を行っていきます。なお、「そうあんくんの日（第2・4水曜日）」には、「草庵先生の歌」を校内に流します。

いっぽう、小・中学校合同の教職員研修をさらに充実させます。具体的には、スクールカウンセラーを講師にしたカウンセリングマインド研修を行うとともに、教員を講師にしたキャリアアップ（授業技術の向上）研修を行います。



八鹿青溪校区小中一貫教育総会後の部会